

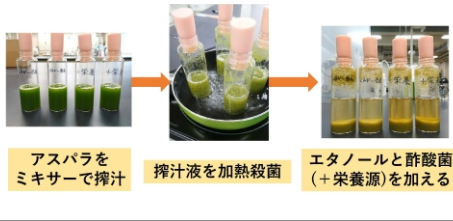
# 北海道若者活躍プロジェクト活動報告

令和3年12月発行

【発行者】室蘭工業大学 北海道若者活躍プロジェクト事務局 TEL. 0143-46-5950 E-mail waka@mmm.muroran-it.ac.jp

## 第3回地域PBL発表交流会を開催

### 呈味試験へ向けたビネガー試作



アスパラガス選定過程の廃棄部位の有効活用  
(函館工業高等専門学校)

第1部では、北海道若者活躍プロジェクトの大学3校・高専4校の12学生チームが、参加者全員に地域PBLの取組みについてショートプレゼンテーションを実施しました。食品、スポーツ、アート、商店街、獣害、防災、外国人、虐待等の多様な問題に対して、学生が考案したアイデアや開発技術が披露されました。

第2部では、参加者が、オンライン上に設けたブレイクアウトルームに分かれ、発表学生と参加者の間で、ポスターセッションのように具体的かつ詳細な意見交換を行いました。

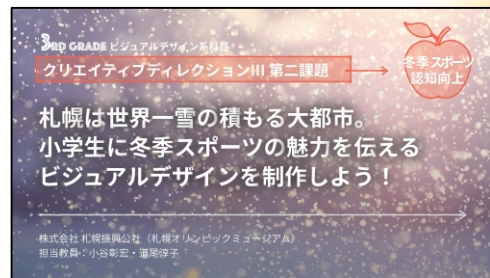
学生の報告に対して、取り上げたテーマや発想を中心に好意的な評価やコメントをいただきました。一方、企業の方にとっては、PBLを介して大学・高専と連携する機会を知る機会になりました。

意見交換終了後に表彰式があり、函館工業高等専門学校の「アスパラガス選定過程の廃棄部位の有効活用」が最優秀賞に選ばれました。発表学生に対して、表彰状の授与、北見工業大学の平山副学長から副賞（カーリングポット）の贈呈がありました。

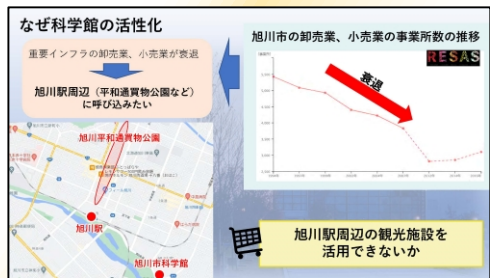
令和3年11月7日に地域PBL発表交流会を開催しました。

この会では、「学生と企業がミライの北海道を考える地域課題解決プロジェクト」と題して、大学・高専の学生が地域課題の解決を目指し考案したアイデアや実際の取組み（地域PBL）について発表し、学生、企業、市民の方々と意見を交わしています。

今年で3回目となり、昨年に引き続きオンラインで開催しましたが、教育、企業等の20機関から82名にご参加いただきました。



冬季スポーツのビジュアルデザイン制作  
(北海道科学大学)



北海道ベースドラーニングによる  
旭川市科学館の活性化 (旭川工業高等専門学校)

## 地域PBLの実施（函館工業高等専門学校）

函館高専のPBLは、地域企業等の実課題に対し専攻科生がコスト、納期などのマネジメント方法なども学びながら進めるもので、すでに14年目の取り組みとして、函館高専による道南への地域貢献に大きな役割を果たして来ています。

最優秀賞を受けたテーマは、JA新はこだて厚沢部基幹支店から依頼の「アスパラ選定過程での切り下の活用」です。コロナ禍の折でもあり、選定作業の視察にはなかなか行けず、JA担当者との打ち合わせはオンラインで行われました。

アスパラガスの美しい緑をできるだけ残すことなど、様々な要件を念頭に入れ開発を進めました。さらに「切り下からの製品が美味しいなら、厚沢部のアスパラガス本体はどれだけ美味しいんだろう」という感激からアスパラの消費拡大にもつなげるという戦略のもと、最終的にビネガーとメンマが完成しました。

ビネガーはJASの規格を満たし、アスパラの香りがほのかに残るマイルドな味わいで、アスパラのイメージとも相まって健康志向のドレッシングとして発展できそうです。

メンマは淡く緑を残し、程よい歯ごたえとアスパラの香りと甘みがあり、絶妙の食感で地元の家や食堂など普及につなげられそうです。

